

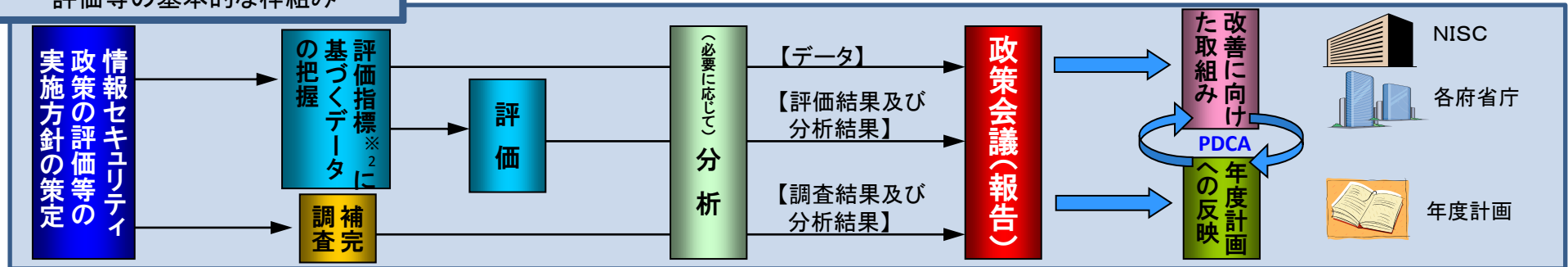
実施方針の目的

情報セキュリティ政策のPDCAサイクルの基本的な考え方、評価の枠組み及び方法等について取りまとめ、内閣官房情報セキュリティセンター(以下、「NISC」という)及び各府省庁が、情報セキュリティ政策の評価等と持続的改善のための様々な取組みを実施していく際に活用するためのもの。

実施方針の内容

- NISCは、年度計画※1に掲げられた取組みの進捗状況、取組みの結果生じた状況変化等に基づき、取組みの効果について評価・分析を行い、評価結果等を情報セキュリティ政策会議に報告する。
- 情報セキュリティ政策会議は、「取組みが不十分と認められる事項」、「新たに明らかになった克服や解決が必要となる事項」等の改善に向けた取組みを次年度計画に反映するとともに、必要な施策を展開する。

評価等の基本的な枠組み



- 第3版※3では、「情報セキュリティ2012」において、環境の変化等により強化された次の政策分野について、評価指標の新規設定や見直しを行うほか、既存政策分野について個々の政策の変更等に伴う評価指標の見直しを行う。
 - 標的型攻撃に対する官民連携の強化等(指標:官民連携強化の状況、国際機関等との連携状況、等)
 - 急速に普及が拡大している新たなサービスに係るセキュリティの確保(指標:スマートフォン、SNS等に関する情報セキュリティ確保方策の状況、等)
 - M2Mにおける情報セキュリティの在り方(指標:M2M、スマートグリッド等における情報セキュリティ技術の研究開発の進捗状況、等) 等

※1:「国民を守る情報セキュリティ戦略」に基づく各年度の計画。
 ※2:評価指標はアウトプット指標、アウトカム指標によって設定。

※3:各年度計画について、これまで「情報セキュリティ2010」を対象とした初版及び、「情報セキュリティ2011」を対象とした第2版を策定。